

1. 教科で育成したい資質・能力

①課題設定や探究方法の創造を行うために必要な、論理的思考の基礎力

- ◇他者の考えを理解する力
- ◇自分の考えを表現する力
- ◇自分の考えの道筋を振り返り、他の作品やことがらに应用する力

②協議に必要なコミュニケーションの基礎力

- ◇共有している認識を確認し、応用し発展させる力
- ◇個人の知識を他者と共有し認める力

2. 小論文指導

- ◇自分の考えを表現する力
- ◇共有している認識を確認し、応用し発展させる力
 - ・読書レポートや懸賞論文、長期休業中の「新書レポート」など生徒の成長度合いにあわせて、各年次で取り組む。生徒への提示方法や提出方法、その後の活用は各年次に任すが、小論文対策につながるように生徒保管を徹底する。

3. 「山月記」「こころ」「舞姫」などの生徒発表型授業

- ◇他者の考えを理解する力
- ◇自分の考えを表現する力
- ◇共有している認識を確認し、応用し発展させる力
- ◇個人の知識を他者と共有し認める力
 - ・教材を共有しつつ、本校での実践例を参考にしてプレゼンテーション授業を展開する。

4. ルーブリック自己評価の活用

- ◇自分の考えの道筋を振り返り、他の事象に应用する力
 - ・指導と評価を一体化し、メタ認知による創造的・論理的思考を高める。

5. 今後の取組

- 社会とつながりを持った思考やそれに必要なスキルの育成に取り組む。
- 非言語型表現を教材に取り入れ、生徒の理解や表現技法の育成に取り組む。
- 新学習新指導要領、新テスト（大学入試）に対応した授業や考査の作成を研究する。
- ルーブリック自己評価を活用する。
- 考査については、思考が深まる作問を行う。